



＜本年度会長方針＞ 夢や希望を語り合おう

地域を育み、大陸をつなぐ

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 岩崎 征一 事務局 名古屋市中央区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 松本 哲朗 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

＜2010-2011年度 R.I.テーマ＞

R.I. 会長 レイ・クリンギンスミス
Ray Klingensmith

第1316回例会

平成23年5月26日(木)
於 名古屋東急ホテル
出席計算数 62名
53名中45名出席
出席率 84.91%
前及前回出席率 90.57%

「ロータリーソング」

「大須ロータリーソング」

指揮者 岡村 隆徳
ピアノ伴奏 富板 玲子

ゲスト

（株）クリニカルスタディサポート
代表取締役 磯村 達也さん

「ニコボックス」

5月ゴルフ例会でライオンズゴルフ倶楽部から、ゴルフバッグ（小笠原理事長特別賞）をいただきました。
岩崎 征一
暑くなりました。小笠原和俊
優秀・優位・優者・・・「優れている」という言葉は私のトレードマーク（？）ですが、中でも「優勝」という言葉を手にした時が一番うれしい！（余談・Wペリア）
尾上 昇
がんばろう日本！ 堀江 英弥
林さん、腰痛楽になりました。ありがとつ。 佐藤 彰
宇野君、素晴らしい庭をありがとう！ 林 順治
誕生日です。老人になりました。 佐々木 功

会長挨拶

会長 岩崎 征一



シャンボール山手

シャンボール山手は昭和50年（1975）に名古屋大学と南山大学を擁する文教地区を貫く山手通



に面して建てられました。マンションで中部建築賞を受賞するのは珍しいことですが、平面は雁行型で、バルコニーによって形成された水平ラインによる端正な外観は洗練された山手通の雰囲気にもマッチし、築30年以上たった今でも山手通のランドマークとなつています。
設計をした野口浩氏は、京都工芸繊維大学を卒業後、電々公社に入社し、各地の電話局をはじめとする公社の施設を数多く手がけました。その後、1960年に野口

卓話

グローバル補助金

「グローバル補助金事業プロジェクトチーム」

高木 政義さん
川畑 博敬さん
田崎 雅三さん

建築事務所を設立し、マンションを中心に設計活動を行っており、質の高い分譲マンションの設計を得意としています。

東日本大震災はグローバル補助金にも影響しました。4月の地区協議会でロータリー財団寄付金の震災地区への支援が話題となりました。寄付金使途の方向として当然議論となることです。
しかし現在手続が進行中の案件の取り扱いが大問題です。事業延期の雰囲気の中、5月13日にロータリー財団の説明会がありました。

結果、当クラブと他のクラブ、地区内で2クラブの事業継続が認められました。本当にほっとしました。延期となれば、事業継続は困難との状況判断でした。



今後は国内での手続きからR-Iへの提案書の提出とな



みなさんの継続した援助をお願いします。

派遣青少年交換学生帰国挨拶

（4月21日例会 続き）

渡辺 彩加

行く前に日本で手話を少し習っていました。言語が違つと手話も違つと聞き、英語の手話はどのようなだろうと思ひ、マックイで10回レッスンを受けました。「Australia」といい、英語の手話というのはオーストラリアの英語の手話でした。日本と同じ手話なのはほとんどなく、はじめは難しかったですが、どうしてこの手話なのかということも先生が教えてくださり、意味がわかりはじめたら、とても楽しかったです。

3月11日の時はまたオーストラリアにいました。地震がおこったことを知らず、友達から「家族は大丈夫？」と聞かれ、はじめて二

ユースをつけました。画面に映っていたのは、大きな津波に流されていく町、大きな火災。頭が真っ白になってしまい、次の瞬間には少しパニック状態になっていました。頭にニュースが入ってこなくて、どこでおこったのか、震度は何なのか、聞いてきませんでした。

名古屋がどんな状態なのかもわからず、すぐに、親に電話をしました。幸い、名古屋は無事ということでしたが、まだ何がおこったのか、よくわかりませんでした。

月曜日「学校にいったら、先生たち、友達たちが「家屋や友達は大丈夫？」と口々に聞いてきてくれました。火曜日「地方紙の記者がきて、私にインタビューをしました。その次の日にそのことが新聞に載っていました。」

とても仲のいい友達が、「日本のために何かしよう、何かしたい。」といってくれ、募金活動を学校ですることになりました。クラスの子が缶ジュースをもってきてくれ、それを売りました。シユースは嫌いだけどといって、募金だけしてくれた子もたくさんいます。オーストラリアドルで2000.00あつまりました。

その日「テレビも私を取材したい」とインタビューにきました。1時間くらい話したんですけど、30秒程度しかかかっていきました。

しかし、そうやって、新聞や、テレビにださせていただいたりのことで、すこしでも現地の人に日本ががんばっていることが伝わっていたらいいなとおもいます。

そうやって、学校が、絵手紙を協力してくださったたり、募金活動をしようと言ってくれて、手伝ってくれる友達がいる。それはほんとに幸福なことだと思います。ホストファミリーもとてもいい人たちで、本当に恵まれていると思います。

たくさん悩みました。泣いたことだってあります。しかしこうやって、オーストラリアで誇れる友達ができたのも、二つも家族がむこうにできたのも、こうやって苦しいこともあったけれど充実したすばらしい一年を過ごしたと思うのも、皆さんが、私を送りだしてくれたからです。

ロータリーの留学生になれて、本当に良かったと思います。いくら感謝をいっても足りないです。

一年間を3、4分で話すのは難しいですが、私がとてもいい経験ができたこと、そして、名古屋大須ロータリークラブにとても感謝をしていることが伝わったら幸いです。

一年間、ありがとうございました。ご静聴、ありがとうございました。(一)

国際ロータリー・ニュース

2011年5月25日

田中作次氏

2012-13年度RI会長に

2011年RIニューオーリンズ国際大会の第4回本会議で、埼玉県、八潮ロータリー・クラブ会員の田中作次氏が2012-13年度RI会長に選出されました。

田中氏は受諾演説の中で、「国際ロータリー会長としてのご指名をお受けでき、誠に栄誉なことと感じています」と述べました。「ロータリーに入会して以来、奉仕で新たなチャレンジがある度に、私はそれを受け入れてきました。私にとって『チャレンジ』は、最も重要な言葉です。チャレンジすること、意欲を燃え立たせ、自分の力を最大限に引き出し、さらに多くを成し遂げることができます。目標まであと一歩のポリオ撲滅を達成するよう、そしてロータリーの強みを生かして「世界でよいこと」をする能力を飛躍的に向上させるよう、ロータリアンに呼びかけました。

田中氏はまた、力強いクラブをつくることは、ロータリアン全員の責任であると話します。力強いクラブづくりには、質の高い会員が必要とされます。そのためにも会員にとって有意義な、充実した例会を一つひとつ積み重ねていくこと、また若い会員を育てる行動



計画の必要性を訴えました。論理は必要ありません。行動で示さなければタマなんです」

3月に東日本を襲った大地震と津波についても言及し、世界各国のロータリアンからの圧倒的な支援に感謝の意を述べました。「世界中の人々、特にロータリアンが、失われた地域社会を再建するために支援の手を差し伸べてくれましょう。自分たちは一人じゃないと知ってこそ、悲劇から立ち直る長い道のりの第一歩を踏み出すことができるのです。」

田中氏が代表取締役を32年間務めた家庭紙卸売業の株式会社タナ力は、1995年に株式公開した後、日用品雑貨卸売販売業者の株式会社タイカと合併しました。現在、八潮市商工会の副会長である同氏は、その後、商圏を全国展開するために再度合併した株式会社あらたの相談役を務めています。また、ビジネス経営を専門に学ぶ、全国家庭紙同業会連合会の会長を務める8年間務められました。

田中氏は、RI理事とロータリー財団管理委員のほか、ロータリー財団地域コーディネーター、地区力バナー、ポリオ撲滅提唱グループ、恒久基金委員会、未来の夢

委員会の委員を歴任されました。また、2009年にはバーミンガム国際大会委員会の委員長という大役も務めました。

ロータリー平和フェローシップ基金を設立した田中氏は、京子夫人とともに、ポール・ハリス・フェロー、恒久基金ベネファクター、大口寄付者となっています。

受賞経歴として、同氏は超我の奉仕賞、ロータリー財団の特別功労賞を受賞されました。

本大会で、2012-14年度RI理事に選出されたロータリアンは以下の通りです(敬称略)。

- アン・フリット・アセボル(スウェーデン)、ジョンB.ボーク(オーストラリア)、ジャン・マルク・シャタニエル(フランス)、松宮剛(日本、茅ヶ崎湖南ロータリークラブ)、アン・L.マシューズ(米国)、ギデオ・パイパー(イスラエル)、アンディ・スモールウッド(米国)、フリン・スタイルズ(カナダ)

6月6日(木) 例会の案内

SPEAK OUT DAY

広報委員会

近藤 明美・前田 隆久
近藤宏一郎・杉浦 令淑

*本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。